阿南信用金庫
半期開示レポート

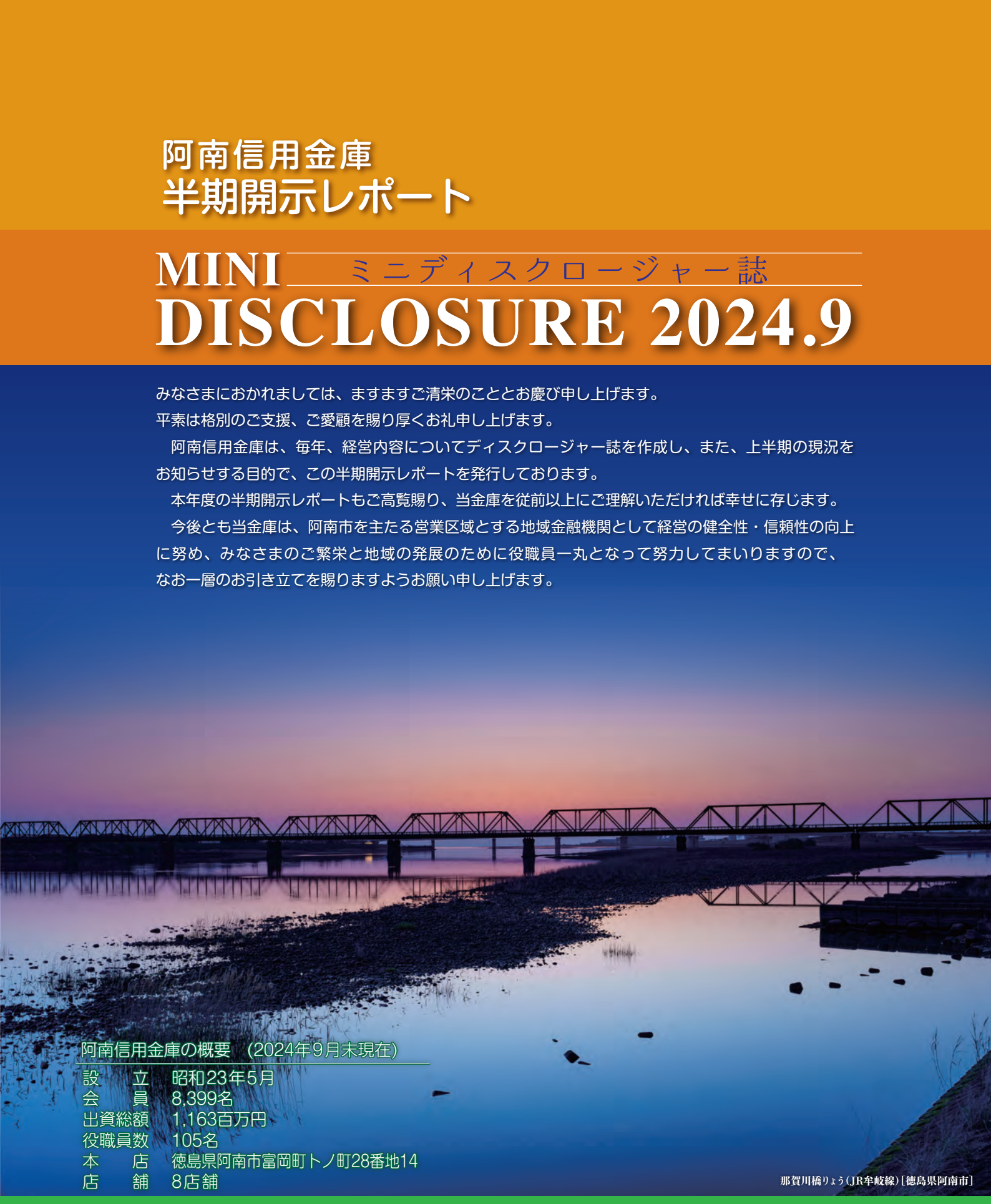
MINI DISCLOSURE 2024.9
ミニディスクロージャー誌

みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

阿南信用金庫は、毎年、経営内容についてディスクロージャー誌を作成し、また、上半期の現況をお知らせする目的で、この半期開示レポートを発行しております。

本年度の半期開示レポートもご高覧賜り、当金庫を従前以上にご理解いただければ幸せに存じます。

今後とも当金庫は、阿南市を主たる営業区域とする地域金融機関として経営の健全性・信頼性の向上に努め、みなさまのご繁栄と地域の発展のために役職員一丸となって努力してまいりますので、なお一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



阿南信用金庫の概要　(2024年9月末現在)

設　　立	昭和23年5月
会　　員	8,399名
出資総額	1,163百万円
役職員数	105名
本　　店	徳島県阿南市富岡町トノ町28番地14
店　　舗	8店舗

那賀川橋りょう(JR牟岐線)[徳島県阿南市]

あなたの夢の応援団

Face to Face 阿南信用金庫

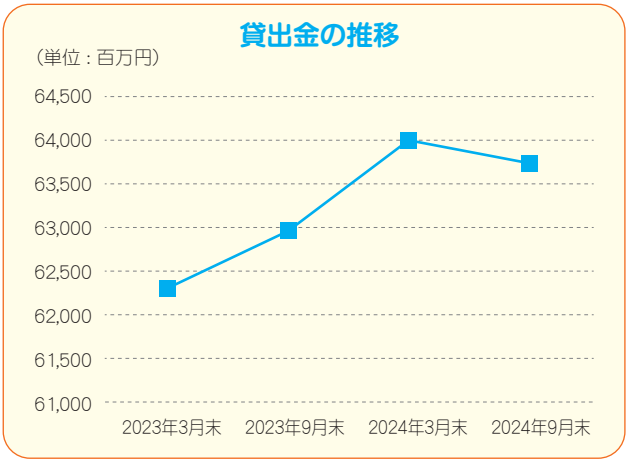
https://www.shinkin.co.jp/anan/

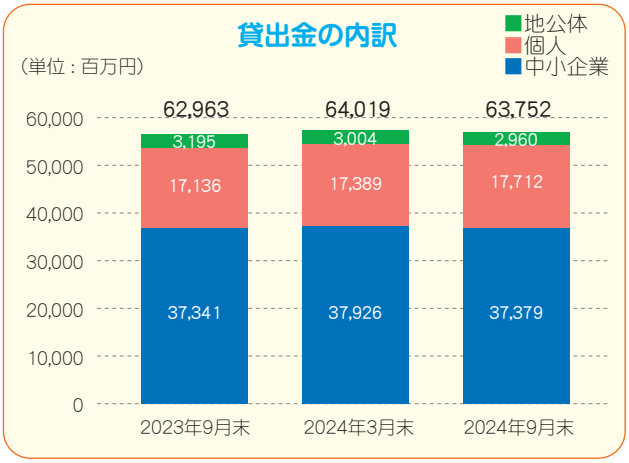
阿南信用金庫は地域の発展とともに成長しております。

業績ハイライト

貸出金

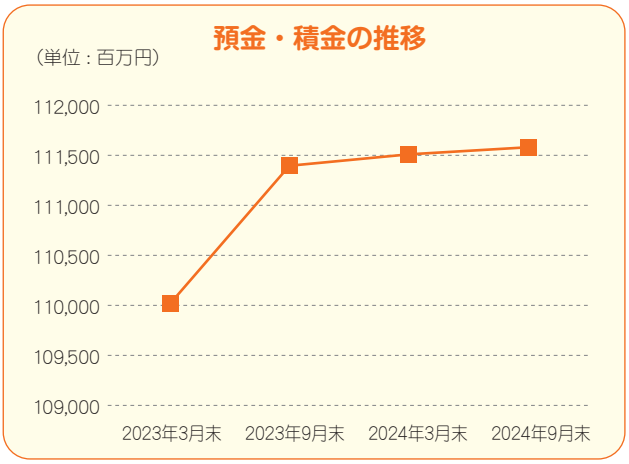
2024年9月期貸出金残高は、中小企業向け、地公体向けが減少し、個人向けが増加となりました。
前期末比は267百万円減少となりました。

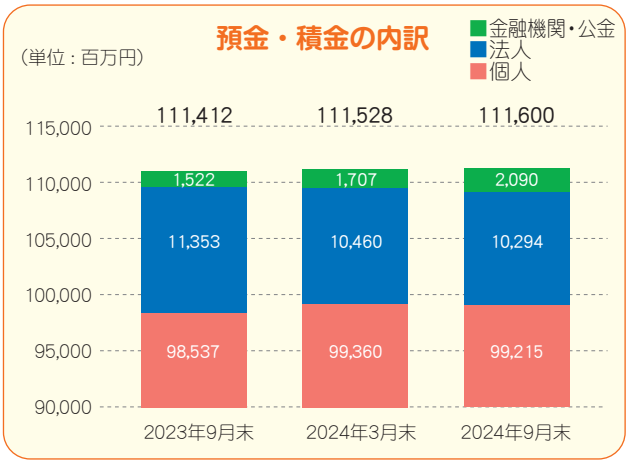




預金積金

2024年9月期預金残高は、個人向け、法人向けが減少し、金融機関・公金向けが増加しました。
前期末比は72百万円増加となりました。





損益の内訳

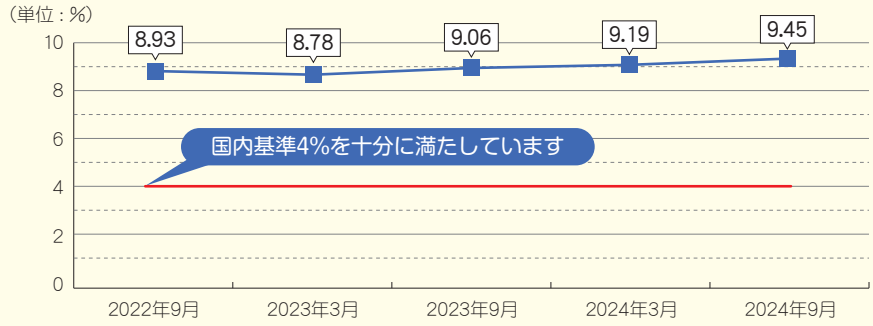
（単位：百万円）

	2024年9月末	2023年9月末	前年同月比
経常収益	935	1,037	▲ 102
業務純益	168	262	▲ 94
実質業務純益	168	167	1
コア業務純益	191	178	13
コア業務純益（投資信託解約益除く）	187	178	8
経常利益	286	356	▲ 69
当期純利益	223	265	▲ 41

※2024年度上半期（2024年4月1日から9月30日まで）の損益です。

○業務純益……業務に必要な経費等を控除した利益で金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。
○実質業務純益…業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加えた、本来業務からの収益を表すものです。
○コア業務純益…業務純益から国債等債券損益を差引し一般貸倒引当金繰入額を加えた、業務純益の本来部分を表すものです。
○経常利益……業務純益に、業務外の損益の差を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示すものです。
○当期純利益……経常利益に、特別利益と特別損失の差を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

単体自己資本比率



自己資本比率は、健全性を示す指標の一つです。
自己資本比率規制（国内基準）に基づく単体自己資本比率は、2024年9月末時点で9.45%となっており、国内基準である４%を十分に満たしております。

有価証券の状況

（単位：百万円）

その他保有目的有価証券	2024年9月末					2023年度〈参考〉				
	帳簿価格	時価	評価差額	うち含み益	うち含み損	帳簿価格	時価	評価差額	うち含み益	うち含み損
	24,909	23,547	△1,362	36	1,399	24,323	23,106	△1,217	58	1,276
株式	6	6	—	—	—	6	6	—	—	—
債券	11,412	10,791	△620	0	620	11,380	10,864	△516	1	517
その他	13,490	12,749	△741	36	778	12,936	12,234	△701	56	758

（注）2024年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、その時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理前）と時価との差額を計上しております。
なお、その他保有有価証券には時価のない有価証券（6百万円）も含まれております。

（単位：百万円）

満期保有目的有価証券	2024年9月末					2023年度〈参考〉				
	帳簿価格	時価	含み損益	うち含み益	うち含み損	帳簿価格	時価	含み損益	うち含み益	うち含み損
	10,253	9,747	△506	0	506	10,173	9,778	△395	2	397
債券	10,253	9,747	△506	0	506	10,173	9,778	△395	2	397
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

2024年9月末		2023年度〈参考〉
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	603	641
危険債権	4,214	4,296
要管理債権	287	229
正常債権	59,535	59,319
合計	64,640	64,487

（注）上記の2024年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

1. 2024年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分（※）を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実並びに債務者区分の変動等があった債務者について、当庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。

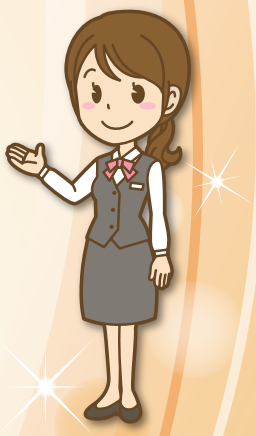
※ 債務者区分との関係
破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）、危険債権（破綻懸念先）、要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

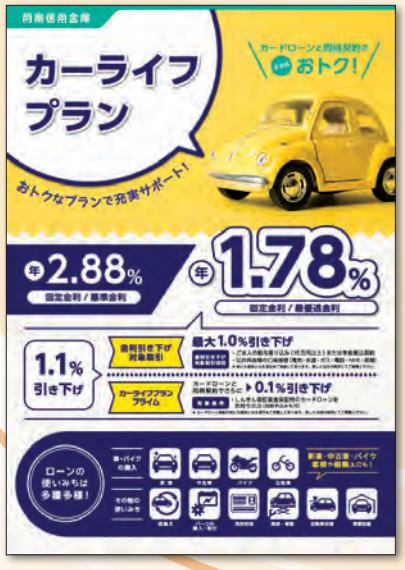
2. 2024年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における残高を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヶ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、③ ①及び②に該当しなくなった債権、④「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に変更になった債権を減額しております。

なお、1. 2.における各債務者の債権残高については、9月末時点の残高を使用しております。

- 信用金庫の事業年度は、信用金庫法に基づき、4月1日から翌年3月31日までと定められており、正式な決算につきましては毎年3月31日に行っております。
- 本レポートは、仮決算に基づくもので、正式な決算によるものではありません。
- 損益と自己資本比率は、9月末時点における貸出金の償却・引当等を考慮し、算出しております。
- 本レポートに記載した各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計とは一致しない場合があります。

阿南信用金庫はお客様志向の経営のもと、魅力的な商品をラインナップしております。





商品についてのご不明点や詳しい内容については、どうぞお気軽に営業各店の渉外担当者または窓口の職員へお尋ね下さい。

店舗名	店舗番号	郵便番号	住　所	電話番号
本　　部	－	〒774-0030	阿南市富岡町トノ町28番地14	0884 (22) 1226
本　　店	001	〒774-0030	阿南市富岡町トノ町28番地14	0884 (22) 1225
見能林支店	002	〒774-0021	阿南市津乃峰町長浜471番地5	0884 (27) 0067
福 井 支 店	004	〒779-1620	阿南市福井町古津159番地1	0884 (34) 2848
羽ノ浦支店	005	〒779-1101	阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ21番地1	0884 (44) 3618
東 部 支 店	007	〒774-0005	阿南市向原町天羽畷77番地2	0884 (22) 9600
見能林駅前支店	008	〒774-0017	阿南市見能林町志んじやく30番地2	0884 (23) 3636
上 中 支 店	009	〒774-0044	阿南市上中町岡186番地5	0884 (23) 1688
那賀川支店	010	〒779-1242	阿南市那賀川町赤池139番地3	0884 (42) 2345

発行：2024年11月　阿南信用金庫　総務部　〒774-0030 阿南市富岡町トノ町28-14　TEL 0884（22）1226

本資料は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。